

チャレンジ問題

- (1) 大きな声で話さないでください。★
- (2) 今朝の新聞、見ましたか。★
- (3) きみのほうが悪いですよ。★
- (4) 教室に着いて初めて辞書を家に忘れてきたことに気づいた。★★
- (5) あいつの厳しい条件をのまざるをえなかった。★★
- (6) ご自身が無理でしたら誰かをよこしてください。★★
- (7) 皆様には会の約束を守って頂きたいのです。★★
- (8) 大学に入ったら長年の夢だった野球部に入りたいです。★★★
- (9) 渋滞の原因は町の中心部に駐車場が足りず、駐車できない車が道路にあふれるからです。★★★
- (10) この川を見るたびに、泳いだり魚釣りをして遊んだなつかしい昔を思い出す。★★★

Hints (2)「今朝の新聞」this morning's (news) paper (4)「気づく」realize (5)「条件」conditions (9)「渋滞」the traffic congestion / jam 「中心部」the central part 「駐車場」a parking place / space / lot // a car park (10)「...するたびに」every time ... // whenever ...

■ 訳し方のポイントと訳例

(1) この場合は「話す」に speak も talk も使えます。talk のほうが speak ほど話の内容が固くない場合(友だちとの会話など)に使われる傾向があります。speak は演説や講演などで話す場合にも使われます。

「大きな声で」は in a loud voice。前置詞 in を用いるのがポイントです。冠詞 a も忘れないように。また、発想を逆転して b) のように「もう少し静かに話して」とすることもできます：

😊 a) Please do not speak / talk in a loud voice.

😊 b) Will you please speak a little more quietly?

もしこれらの表現を知らなければ、次のようにすることができます：

😞 c) Please be quiet. (=静かにして)

😞 d) Do not make so much noise. (=そんなに大きな音を立てないで)

しかし、この二つの文は必ずしも「声」だけを意味してはいないことを付け加えておきます。

(2) 「見ました」は「読んだ」の意味なので read ですが、look at を使えば、「ざっと目を通した」という状況になります：

😊 a) Have you read this morning's paper yet?

😊 b) Have you looked at this morning's paper yet?

次のようにも言えます：

😞 c) Have you seen this morning's paper yet?

ただ、see は read を意味することもあるのでこれは間違いではありませんが、状況によってはあいまいな感じがします。「I am looking for the paper. Have you seen it?」「新聞を探しているんですが、見ませんでしたか」という意味に受け取られやすいからです。

(3) 日本語の「悪い」は英語の bad よりも広い意味があります。ここでは道徳的な意味があるので、それを訳出することが必要です。

😊 a) It is you that are in the wrong. to blame.

It is ... that ~の「強調構文」を使って「ほうが」の意味を込めています。in the wrong は「(誤り・事故・けんかなどで)(道徳上)責任がある」という意味です。ふつうに書けば次のようでもかまいません：

😊 b) You are to blame.

😊 c) It was your fault.

なお、be to blame は次のように、何に対する責任かを示すことができます。

You are to blame for the mistake.「その失敗の責任はきみにある」

以下の文は、意味の正確さにおいては劣る訳です：

😞 d) You are in the wrong.

😞 e) You did something wrong.

😞 f) It was your mistake.

😞 g) You did something bad.

(4) 「忘れる」と聞くと、みなさんは forget が第一感でしょう。しかし、ふつう「物を忘れた」場合は leave を使います。「~して初めて...」は「...するまで~しなかった」と言い換えると訳しやすくなります(→1章 ㊦(9))：

😊 a) I didn't realize that I left my dictionary at home until I got into the classroom.

ただし、忘れた場所がわかっている場合は forget を使うことができます。